

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】平成 21 年 8 月 27 日 (2009.8.27)

【公表番号】特表 2009-506214 (P2009-506214A)
 【公表日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-006
 【出願番号】特願 2008-528310 (P2008-528310)
 【国際特許分類】

C 2 3 C 14/50 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/50 H

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 8 日 (2009.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

駆動ディスク 2 2 の各々は、その高さに位置する工作物ホルダ 1 3のグループ 1 2 の駆動ピン 1 9 と、伝達部分 2 5 によって結合されており、その伝達部分は、その端縁が駆動ディスク 2 2 をぎりぎりで包囲する、中央の円形の結合切欠きを有し、かつ各工作物ホルダ 1 3 のための駆動開口部 2 6 を有しており、その駆動開口部を通して、前述の端縁によってぎりぎりで包囲される駆動ピン 1 9 が突出しているので、伝達部分 2 5 は駆動部分 2 0 と共に、かつ工作物ホルダ 1 3 と共にそれぞれ回転可能であるが、その他においては、わずかな遊びをもって結合されている。工作物ホルダ 1 3 のベース 1 4 が、図 5 に示すように形成されている場合に、ベースを極めて簡単に駆動開口部 2 6 内へ挿通して、次にマウント 1 5 を取り付けることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

図 2、3 に図式的にだけ示されている、伝達部分 2 5 は（図 7 も参照）、上述した結合切欠きを包囲するインナーリング 2 7 とアウターリング 2 8 を有する平坦な打抜き部品として形成することができ、アウターリング内には、この場合において二十個の駆動開口部 2 6 が、同じ数の工作物ホルダ 1 3と係合するために周面にわたって分配して設けられている。インナーリング 2 7 とアウターリング 2 8 は、径方向のスポーク 2 9 によって結合されており、そのスポークは、この例においては中央の結合切欠きから始まる径方向のスリット 3 0 によって弱体化されているので、スポークが破断すべき箇所を形成し、該当するグループ 1 2 の工作物ホルダ 1 3のいずれかがブロックされた場合に、その破断すべき箇所が破断する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

軸 2 1 は、基台 1 に固定された、中間トランスミッション 3 1 の従動部と結合されている。その中間トランスミッションは、基台 1 と螺合されたベースプレート 3 2 と駆動軸 4 を中心に回転可能に駆動軸上に軸承されたリングギヤ 3 3 および中間トランスミッション 3 1 の従動部と、従って軸 2 1 と回転できないように結合されたサンギヤ 3 4 を有する、遊星歯車機構として形成されており（図 8、9）、そのサンギヤは同様に駆動軸 4 を中心に回転可能にベースプレート 3 2 に軸承されている。サンギヤは、3 つの等しいプラネタリピニオン 3 5 によって包囲されており、そのプラネタリピニオンは駆動軸 4 に対して平行な軸を中心に回転可能であって、リングギヤ 3 3 とともに、サンギヤ 3 4 と噛合する。リングギヤ 3 3 は、外側へ張り出す取っ手状の突出部 3 6 を有しており、その突出部は回転台 3 が回転した場合にその回転台に当接するので、リングギヤ 3 3 は回転台 3 が同じ方向にさらに回転した場合に回転台に対して回動できず、一緒に回転される。従って突出部 3 6 は、中間トランスミッション 3 1 のための駆動装置を形成する。中間トランスミッション 3 1 は、さらに、ベースプレート 3 2 に螺合された、軸 2 1 のための中央の開口部を有するカバープレート 3 7 によって閉鎖されている。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 5 】

回転台 3 がモータ 6 によって駆動軸 4 を中心に回転された場合に、突出部 3 6 が連動されて、中間トランスミッション 3 1 のリングギヤ 3 3 が一緒に回転されるので、駆動部分 2 0 も駆動軸 4 を中心に、特に、広い領域から選択することができる、中間トランスミッション 3 1 の変速比に従って、より大きい角速度で回転される。軸 2 1 に偏心して固定されている駆動ディスク 2 2 の各々によって、それぞれそれと協働する伝達部分 2 5 が同様に、偏心率 E の長さに相当する半径の円運動に支配されるが、その場合に伝達部分は該当するグループ 1 2 の工作物ホルダ 1 3 の駆動ピン 1 9 と係合していることに基づいて一緒に回転されない。駆動ピン 1 9 は、伝達部分 2 5 の運動によって連動されて、同様に、それぞれのホルダ軸を中心に偏心率 E の長さに相当する半径の円運動を実施し、それが同じホルダ軸を中心とする工作物ホルダ 1 3 の対応する回転をもたらす。